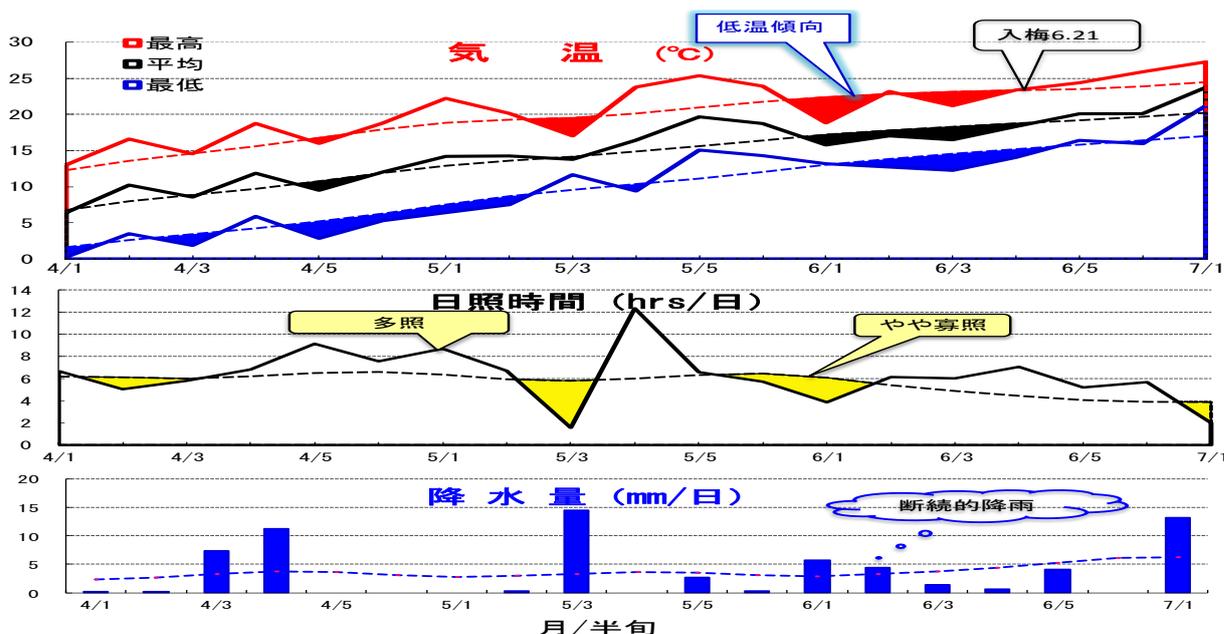


～天候の回復で生育「並」やや草丈低い。幼穂確認し適期管理を！！～

## 1 気象経過



- ・ 6月の気温は、前半は平年よりやや低く、後半はやや高かった。
- ・ 日照時間は、期間を通して多照となっている。
- ・ 6月の降水量は、少雨傾向で入梅後も晴れ間があり、空梅雨傾向である。

## 2 生育状況

### [6月30日現在]

- ・ 水稻の生育は平年より1日程度遅いが、必要茎数が確保され、概ね順調である。
- ・ 草丈は、40.8cm(平年比82%)で短く、1㎡当たり茎数は567本(平年比103%)と概ね平年～やや多くなっている。
- ・ 葉数は9.6枚(平年差-0.2枚)で平年並み、葉色はGM値が42.8(平年差+2.3)となっている。
- ・ 間もなく幼穂形成期(県平均の平年は7月9日)を迎える

品種別生育状況(6月30日現在, 県生育調査圃)

県全体

県全体	草丈			茎数			葉数			葉色		
	本年(cm)	前年比(%)	平年比(%)	本年(本/㎡)	前年比(%)	平年比(%)	本年(枚)	前年差(枚)	平年差(枚)	本年(GM値)	前年差(GM値)	平年差(GM値)
	40.8	78	82	567	108	103	9.6	▲0.3	▲0.2	42.8	0.0	2.3

品種別

品種別	草丈			茎数			葉数			葉色		
	本年(cm)	前年比(%)	平年比(%)	本年(本/㎡)	前年比(%)	平年比(%)	本年(枚)	前年差(枚)	平年差(枚)	本年(GM値)	前年差(GM値)	平年差(GM値)
ひとめぼれ	40.5	78	81	534	109	101	9.6	▲0.4	▲0.3	43.1	0.0	2.3
ササニシキ	40.3	78	85	622	102	105	9.6	▲0.2	▲0.1	42.4	0.6	2.5
まなむすめ	44.3	80	79	672	131	115	9.5	▲0.0	▲0.2	41.6	▲2.2	0.9

- ・ 早生品種では既に幼穂が確認されている。。



### 3 今後の管理

#### (1) いもち病に注意

- ・ 病害虫防除所の感染好適日が HP に掲載されるので常に注視する。
- ・ 各地で好適感染日が出現しており条件により一気に発生するので水田の見回りを密にする。

【いもちの発病：平均気温が 20～25℃，曇りや雨の日が多いことが好適】

アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況 (BLASTAM 平成29年度)

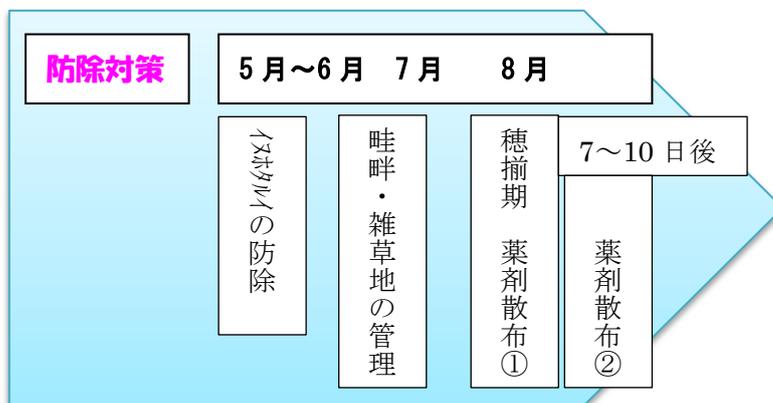
日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	桃生	大衡	鹿島台	東松島	石巻	女川	新川	塩釜	江ノ島	仙台	名取	白石	蔵王	亘理	丸森	
7/1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/3	—	—	●	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—	—	●
7/4	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—

● 感染好適条件 ○ 準感染好適条件

#### (2) カメムシの発生と防除

【アカスジカスミカメ (本県の主要カメムシ)】

- ・ 防除所調査の水田周辺雑草等で発生地点率が，77%と過去10年で最も高かった。
- ・ 防除所より7月5日付けで発生予察注意報2号が出された。
- ・ 7月上旬までに水田内のイヌホタルイの除草を徹底し，周辺の草刈を実施する。
- ・ アカスジカスミカメ第1世代幼虫の発生ピークは7月上～中旬と思われる。
- ・ イタリアンライグラスを刈取り第1世代成虫の繁殖地での発生密度を低くする。



#### (3) 肥培管理

- ・ 圃場で主茎を数本抜いて，幼穂の発育状況を確認し肥培管理に努める。

(幼穂形成期：幼穂長 1～2mm，減数分裂期 3～12cm)

県全体の出穂予想  
**8月7日**  
(平年8月5日)

地帯区分	田植時期	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
北部平坦	5/2～5/19	7/4～7/13	7/14～7/23	8/2～8/9
南部平坦	5/3～5/19	7/2～7/11	7/12～7/21	7/31～8/6
仙台湾岸	5/3～5/23	7/4～7/16	7/14～7/26	8/2～8/10
西部丘陵	5/7～5/26	7/6～7/18	7/16～7/28	8/4～8/13
山間高冷	5/7～5/27	7/16～7/23	7/26～8/2	8/14～8/21
三陸沿岸	5/7～5/25	7/12～7/20	7/22～7/30	8/11～8/17

- ・葉色のピークが遅れているが、今後低下すると思われ葉色の維持に努める。
- ・追肥は、下記の基本どおりとする。（窒素成分量 kg/10a）

品種名	幼穂形成期	減数分裂期
ひとめぼれ	1	1
ササニシキ	-	1~1.5
つや姫, まなむすめ	2	-

【「ひとめぼれ」の草丈・茎数の目安】

	6月20日	7月1日
草丈・稈長(cm)	32~34	45~48
茎数・穂数(本/m <sup>2</sup> )	310~360	460~520
葉緑素計値	41~44	40~42

#### (4) 直播の状況と管理

- ・圃場により差が大きいですが、概ね茎数が確保されている。
- ・移植に比較して7日~10日ほど遅れており、葉色が濃く病害虫の発生に注意する。
- ・雑草の取りこぼしが見られるので、除草剤の散布時期を見極め遅れないように処理する。
- ・特に鉄コ播種では、倒伏軽減のため、より強い中干しの徹底や溝切りを実施する。

〔石巻の例〕

草丈	茎数	m <sup>2</sup> 茎数	主稈葉数(葉)	葉色
33.7	25.4	386.3	8.2	38.8



## 4 気象予報（仙台管区气象台公表）

- ・平年と同様に曇りや雨の日が多い。
- ・平均気温は、高い確率70%で降水量は並~多く、日照時間は並~多照である。
- ・1週目は高い確率80%、2週目は高い確率70%、3~4週目は平年並~高い確率ともに40%である。

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)				
【気温】	東北地方	10	20	70
【降水量】	東北太平洋側	30	40	30
【日照時間】	東北太平洋側	30	40	30
気温経過の各階級の確率(%)				
1週目	東北太平洋側	10	10	80
2週目	東北太平洋側	10	20	70
3~4週目	東北地方	20	40	40